

サインの考え方

これまでの地方公共団体庁舎にありがちなサイン計画

設計事務所任せ、特に職員からの要望を発することは少なかった

自治体側からは部署名の通知程度

庁舎建設に関与する一部の職員だけが図面上で確認しているのみ

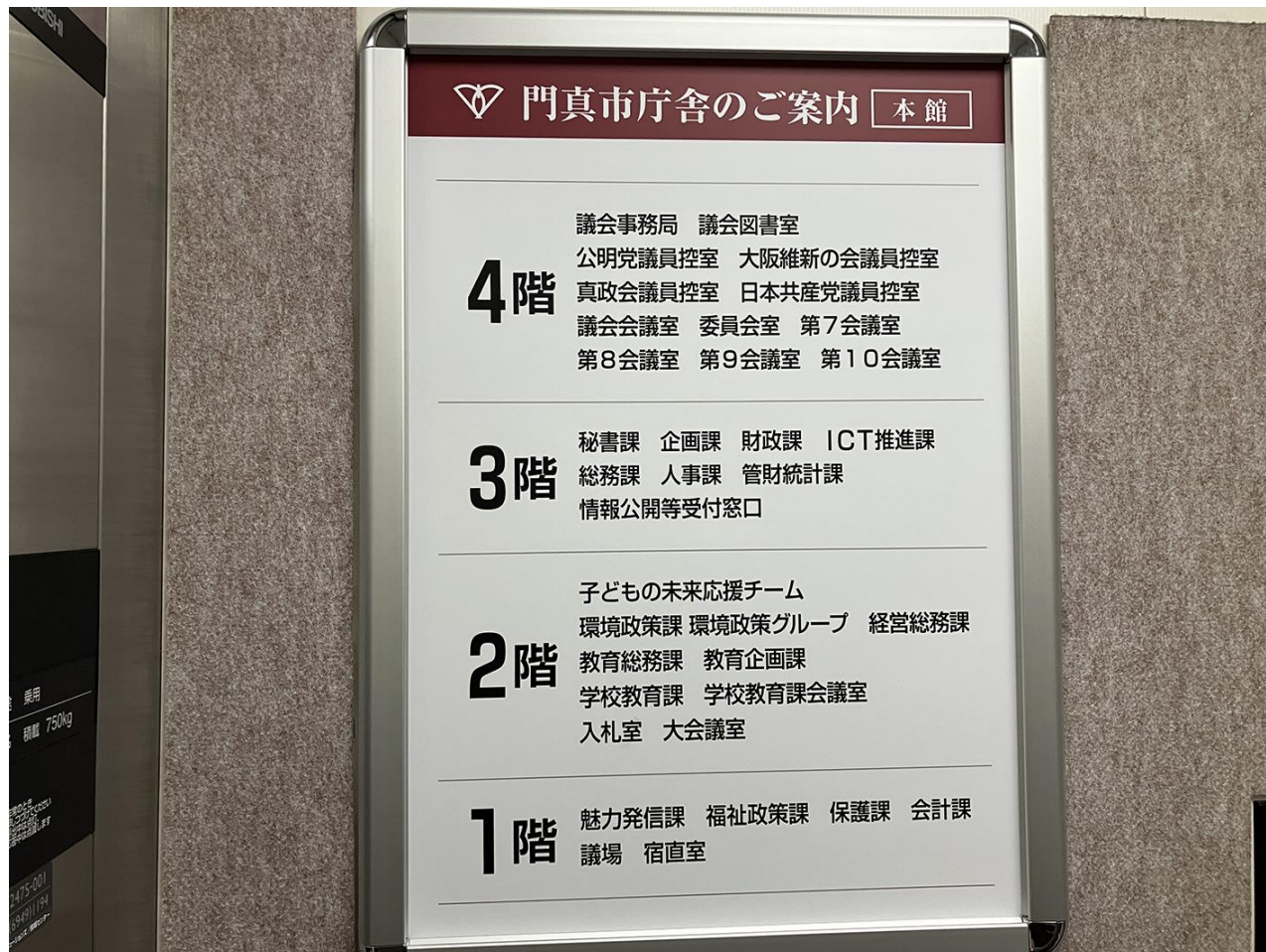
表示されるのは所属名称、来庁者から見れば自己の目的が所属名称だけでは分からない

単調なデザインや書体が大半のため目的を探すのが困難

毎年必ずメンテナンスが必要になるが、それが考慮されていない設計の場合が多い

初めての来庁者にも分かりやすいサイン計画をすることが求められます

見える光景を整理すること



サインの考え方

では、見える光景を整理するのはどのようにすれば良いのか

デジタルサイネージの活用が挙げられますが・・



現庁舎では広告付窓口番号発券機モニターの他ではあまり活用されているとは言えません

サインの考え方

現庁舎のサインは部単位で色分けを実施しています

平成29年度に改修されているので比較的各所属のサインは分かりやすく構成されています

部で色分けされていますが、来庁者に刺さる考え方でしょうか

そして、見える光景を整理するとはどのようなことでしょうか



それらを踏まえて、働き方・レイアウト等検討WTでテーマとして取り上げていただきました

第8回テーマ：レイアウト等検討分科会 サイン計画 1

庁舎サインの基礎知識習得 現状の「いいところ」「わるいところ」を考える。

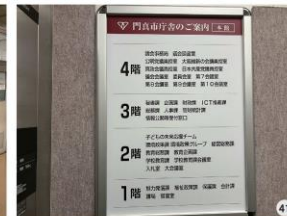
庁舎サインの基礎知識

現状の写真を選ぶ

グループディスカッション

- ・ 現状の写真を選ぶ
- ・ 現状のいいところ/わるいところ
- ・ 改善案を考える

全体共有



サインの考え方

令和7年7月度WT活動

現庁舎の良いところ、悪いところをピックアップ
→新庁舎で悪いところをどのように改善するか

- 1 .ポスター、パンフレットについて
- 2 .総合案内所について
- 3 .発券機について(呼び出しモニタを含む)
- 4 .サインの表記内容
- 5 .サインの設置場所・環境・ルール

わるいところと改善案

わるいところ	わるいところ
・48窓口カウンター：プリンターやラックが置かれていて圧迫感がある。 ・23窓口周り：表記が課名のみで何の窓口が分からない。 ● →手続き内容を追加 ・34展示物：門真の良い所をアピールしているのにもったいない。もう少し華やかにいたいところ ● →市民が来る場所に配置 ・9 ポスターとリーフレットのある窓口：リーフレットの上下にポスターが掲示されており、リーフレットが埋没している。ポスターがノイズになっている。 ● →デジタル化。1フロアに2台程度のデジタルサイネージを設置（ポスターの貼付け禁止） ・6 総合案内所：案内人が目立っていない。うもれていて存在感が無い。 ● ● ● ● →貼り紙をはずし、すっきりさせる。「案内」をしっかりと表示 ・2 家庭自動相談センター：チラシラックでドアが死んでいる。 →チラシの整理、あまりニーズがなさそうな物は処分する。 ・11窓口周り：サインが見えづらい →サインに色づけ？ サインの角度を変える。 ・7 ポスターの貼られた廊下：ポスターが目立って窓口（入口）が分かりづらい →ポスターデジタル化	・5 モニタのある窓口：サインよりもモニターが目立っている →モニターの位置を変える ・45ポスターの多い入口：ポスターが多すぎて入るのがこわい。次どこに入っているか分からない。 ● ● →デジタル化 貼るなら形やカラーを同系色でまとめるとともに重ねて場所を節約 同じ内容のポスターは貼らない 窓口の入口にサインいる ・49発券機：ダンボールで囲われて目立たない ・15課名とポスター：ポスターがいっぱい 課はどこ？ ・30文字が多い天吊りサイン：字が小さくてみえない ・6 53総合案内所：総合受付のサインがない ● →サインをつける ・9 カウンターにポスター：ポスターが多くてサインが目立たない ・32入口付近：フロア案内が他の掲示物にうもれているし地図の向きが違う ・46窓口周り：サインのルールがないので作っていかないとはいけない ● →文字数、高さ、色 ・45ポスターの多い入口：ポスターが多すぎてごちゃごちゃしている ● ● ● ● ● ● ● ● →ポスター掲示ルールをつかって全庁的に徹底する デジタルサイネージ ・49 43発券機： ● ● →発券機場所を1つにするメインの場所コンシェルジュとセットで 声で知らせる 他に物をおかない 目立たせる

light reserved. okamura |

サインの考え方

現在、基本計画策定準備中で設計に着手していない

- ・具体的なカタチまで検討を進める状況ではない

WTでは職員参加型のサイン計画を推奨している

- ・来庁者を案内することが多かった職員の意見は貴重
- ・初めて来庁される市民にも分かりやすく、親しみが感じられるデザインや書体の採用を推奨する

開庁すると、直ちにメンテナンスを初めとした維持・管理は職員の役割になる

- ・常に来庁者目線でメンテナンスをおこなうことが必須となる
- ・毎年、必ずと言っても過言ではないくらいメンテナンスは発生する
- ・そのメンテナンスが容易、安価、そして美的に維持できることがサインの基本計画としての位置付けです

中町ビル仮移転時は使用期間が限られた市役所という位置付けになる

- ・可能な限り華美としないこと、ただし市役所としての来庁者目線を決して忘れずに計画する
- ・構造的に市役所仕様で設計された建物ではないため、十分な誘導サイン不可欠と考えています